

Highleads



Highleads Electric Pandeiro's Assembly & Usage Instructions

エレキパンディロを、ご購入頂き誠に、ありがとうございます。

エレキパンディロは、軽量化を重視する為に、シンプル構造を重視した設計となっておりますので、お取り扱いとメンテナンスに関しては、是非とも丁寧をお願い申し上げます。特に注意して頂きたい点は、②の XLR オス端子に対して、①の XLR メスプラグを挿す際に、オス端子に向かって、力ずくで押し込んで、取り付ける事により、CubeMic が赤い矢印方向に回転してしまわないように、写真の様にしっかりと②オス端子を固定しながら、①メスプラグを挿し込んで下さい。逆に外す時も、しっかりと②オス端子を固定しながら、①メスプラグのロックボタンを押して、ロックを解除しながら外して下さい。

特にエレキパンディロは、激しく振る事もある楽器ですので、ケーブルは、なるべく本体に重量が少なくかかる工夫もして下さい。例えば、演奏者の

ベルトとかに一回通して、ベルトからエレキパンディロ迄の距離のみをフリーにするとか、腕にケーブルをガムテープで止めるなど、工夫をして下さい。又、定期的に、CubeMic 本体を胴に止めているネジナットを増し締めしたり、③XLR 端子取り付け金具を止めているネジも締め確認するようにしましょう。激しく振っても、CubeMic 先端の薄い金属板が、打撃面に均等に押し付けられている状態が保持できるように、ネジ類の緩みは定期的にメンテナンスして下さい。エレキパンディロは、ジングルの音もしっかり拾っていますが、EQ 処理とかで 3kHz 以上を持ち上げたりすると、キレイに聞こえるかもしれません。又、500Hz~1kHz 辺りを下げると音が落ち着きます。更に 80Hz 辺りを持ち上げると、皮の低音部を持ち上げられます。パッシブタイプですので、マイクプリアンプとかマルチエフェクタなどを使って、EQ 調整、ノイズゲートなどで基本音を仕上げ、それに様々なコンプ、リバーブ、オートワウ、リングモジュレイタ、フランジャー、コーラス、ディレイなどを自由に重ねる事に由り、楽しい音表現が、無限に広がります。もちろん埋もれがちな小音量プレイを持ち上げる事にも長けておりますので、EQ だけで音作りをし、そのままスピーカーから出力しても充分です。

絶対に、ファンタム電源 48V は、オフでお使い下さい！

Highleads

By 株式会社ハイリーズ

株式会社ハイリーズ 電話：050-3391-9719
〒193-0841 東京都八王子市裏高尾町190番地5

製品改善のため、予告無くデザイン・仕様を変更する場合がありますのでご了承下さい。

